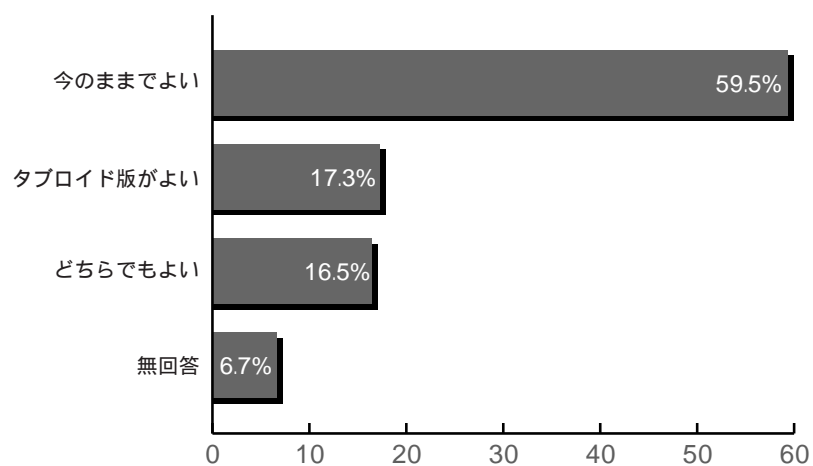
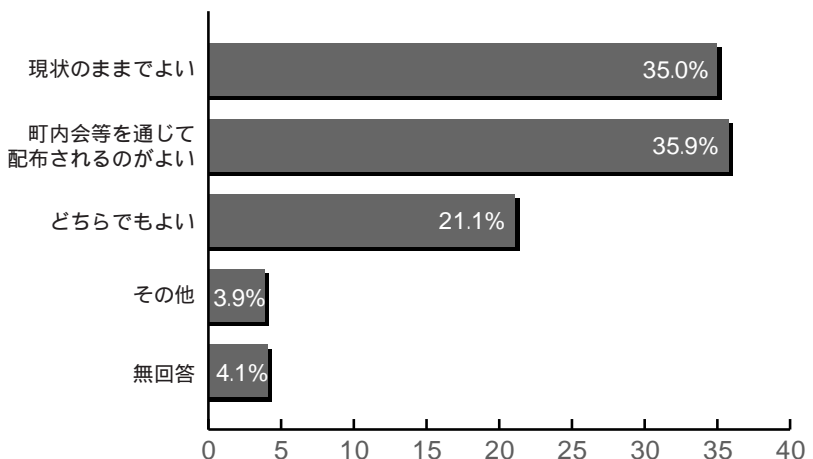


広報するもい（のタブロイド版）新聞と同様の形で、大きさは新聞の約半分（へ）の変更については、今のままでよい」が約6割を占め、主な理由は「保管・保存しやすい」「読みやすい」「配布しやすい」などでした。一方、タブロイド版がよい」の理由は「コストが低い」「一覧性が高い」などが多く、安くて扱いやすい広報誌を求める傾向がうかがえました。



広報するもい（のタブロイド版）への変更案については？

「広報するもい（の配布方法については、町内会等を通じて配布されるのがよい」という意見が、現状のまま（広報委員による配布）でよい」という意見を若干上回る結果となりました。



広報するもい（の配布方法）についてどう思いますか？

留萌市民に聴きました！

たくさんのご意見、ご感想 ありがとうございました

611人の声

留萌市の広報活動に対するみなさんの声をお聴きするため、9月にアンケートを行いました。広報委員のご協力により配布した1000通のうち、実に611人の方から回答がありました。今月号では、そのアンケート結果の概要をご紹介します。みなさんから寄せいただいたご意見をこれからの広報活動にいかしていきたいと考えています。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

みなさんから寄せられた 声をご紹介します！

市の広報活動に対し、たくさんのご意見・要望を寄せていただきましたので、その一部をご紹介します。

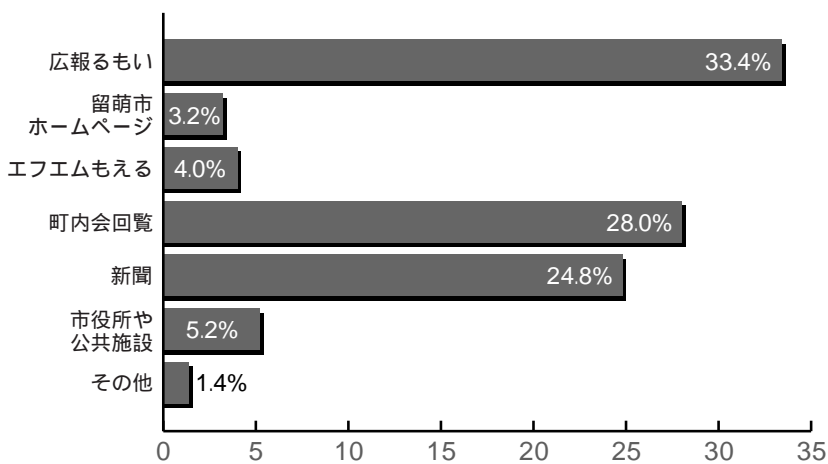
「広報するもい」への声

- 「サークル紹介などを転勤時期にあわせて載せてほしい」(30代女性)
- 「各町内や、老人クラブ活動内容などを紹介してほしい」(70代男性)
- 「広報は見ないわけではないけど、全部を詳しく見るほど興味はない。市民の立場になって読みたいと思うものを作っていたらいい」(20代女性)
- 「今のところFMもホームページも利用しておりません。もっぱら広報誌のみです。後になっても読めるので大いに役に立っております」(60代男性)
- 「町内会を通じて配布される場合に、町内会に入っていない人はどうなるのか不安な点もある」(40代女性)

「市提供のEFエム番組」への声

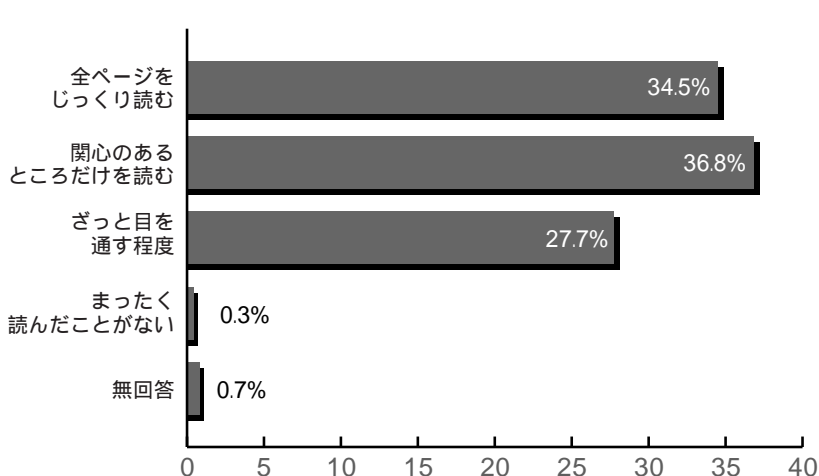
- 「よいと思うが、いつでも聞けるわけではない」(30代女性)
- 「情報プラザは、分かりやすいが、おもいつきり留萌市は、内容が硬く分かりづらいものもある」(50代女性)
- 「個人的には聴いていないが、様々な形の情報提供は必要」(50代女性)

市政に関する情報をどのように入手していますか？



留萌市政に関する情報は、広報するもいから入手するという回答が最も多く全体の約3分の1を占めています。次いで、「町内会回覧」が28%、「新聞」が24.8%と、この三つで全体の8割を超えています。生活の中で身近な情報ツールから情報を取り入れていることが伺えます。

広報するもいをどのように読んでいますか？



情報入手の回答が最も多かった広報するもいを何らかの形で読んでいる人は99%と、ほとんどの人が広報するもいを読んでいると回答しています。ただし、その読み方は、「全ページをじっくり読む」が34.5%であるのに対し、「関心のあるところだけを読む」が36.8%と、関心のあるところだけを読む「ざっと目を通す程度」が64.5%を占めており、気軽に目を通す読み方が多いようです。

留萌市ホームページへの声

- 「トップ画面が充実してきましたが、さらなる工夫を期待します」(50代男性)
- 「キッズコーナーなどで子供にも分かりやすくしてほしい」(40代女性)
- 「なかなか分かりやすいホームページだと思えます」(40代男性)
- 「ホームページを見るためにどうすればよいの分かりません」(60代女性)

市からの町内会回覧への声

- 「次の家へ回すため、ゆっくり見ることができない」(60代女性)
- 「市で何が行われているのかを知る有効な手段である」(50代男性)
- 「広報の情報を見落とす場合もあるので、回覧もあつよい」(40代女性)
- 「開催時期等が過ぎてから回覧が来ることがある」(60代男性)

このほかにも、本当にたくさん貴重な声をお寄せいただきました。

このアンケート結果については、さらに分析・評価を行い、今後の広報活動の参考として、有効活用していきたいと考えています。

なお、アンケート結果の詳細については、市政情報コーナーや留萌市ホームページなどを通じて、お知らせする予定です。

問い合わせ先

市・企画調整グループ
☎42・1809(直通)